



病院だより 63

美祢市立美東病院 医師の紹介

平成26年4月から、美祢市立美東病院でお世話になっております、在津潤一と申します。この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。

私は平成19年に山口大学医学部を卒業しました。大学卒業後は2年間の卒後臨床研修として、内科・外科・麻酔科など様々な診療科を数か月間ずつ研修することが義務化されており、私は最初の1年間山口県済生会下関総合病院で、その後1年間山口大学医学部附属病院で研修を行いました。

研修終了後の平成21年に山口大学第一内科へ入局し、消化器内科の道を歩み始めました。同時に大学院に入学し、平成21年度から24年度まで研究も併せて行っておりました。大学院に在籍している間は、大学での業務と並行して、関連病院へ非常勤医師として週1～2日勤務します。私も様々な病院でお世話になったのですが、大学院で過ごした4年間を振り返ると、美祢市内の病院に勤務させていただく機会がたいへん多かったように思います。

平成21年度の1年間、大学からの外勤として週1日美東病院に勤務し、腹部超音波検査・上部消化管内視鏡

検査など消化器内科の基礎を学びました。私にとっては、消化器内科としてのスタートを切ったのが美東病院ということになります。その後、大学院4年目の平成24年6月から平成25年3月までの10か月間、美祢市立病院内に開設された「山口大学医学部附属病院 初期診療室」でお世話になりました。この間には、美祢市立病院で多くの先生よりご指導をいただきながら、週2日間当直・初期診療を行っておりました。すなわち、あわせて約2年間、美祢市での診療に従事させていただいたことになります。美祢市に勤務されていた先生方や、地域の皆さんからは若手医師として非常に多くのことを教わったように感じております。

平成25年に大学院を修了し、周南市にある新南陽市民病院で1年間勤務いたしました。消化器内科医として私自身が貢献できたことは少なかったのですが、糖尿病をはじめ、内科全般にわたり、様々なことを学ばせていただきました。

今年美東病院への転勤が決まった時は、古巣に帰った心境でした。以前私が内視鏡や超音波検査に当たらせていただいた患者さんに、数年ぶ



美祢市立美東病院
内科部長 在津潤一

りにお会いすることがあります。患者さんが私のことを覚えてくださり、元気に声をかけてくださったときは本当に嬉しく思いました。

患者さん一人一人のお話をじっくりと聞き、どのように検査や治療を行うかについても時間をかけて相談し合えるところに美祢市立美東病院・地域医療ならではの良さを見出しています。私個人ができることは多くありませんが、地域の皆さんの健康に微力ながらお力になることができればと考えております。よろしくお願いたします。

問合せ先 美祢市立美東病院 ☎08396(2)0515]